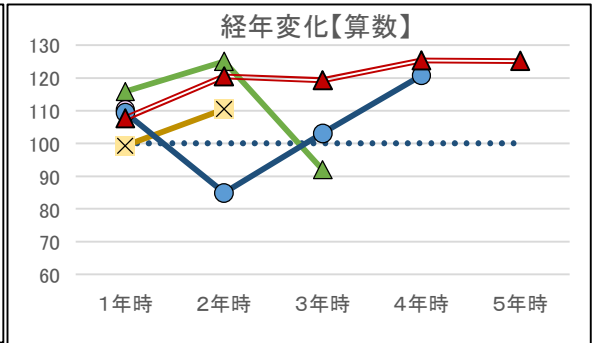
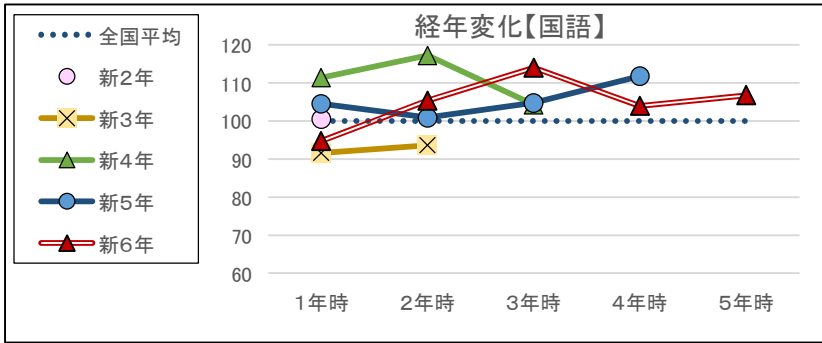


I 前年度の各種調査から見られる学校の状況

① 各学年の標準学力検査の経年変化（全国平均を100とする標準スコア）

※釧路市では、3～6年生を対象に標準学力検査を実施していますが、本校では、独自に1、2年生においても実施しています。



② 学校の状況

・令和7年度学校評価アンケート（年2回実施）の結果、「主体的な学び」「読書」「家庭学習」「メディアの使い方」において課題が見られた。現在、各課題点について分掌ごとに協議を重ね、学校全体として組織的な対応を進めている。
 ・朝学習や放課後学習を活用して適宜「学び直し（補充問題）」を行い、その成果が標準学力検査の結果に表れている。家庭学習については、「武佐小チャレンジ」の実施や中学校区での「パワーアップ週間」等を通じて、個々の課題に応じた学習の定着と生活習慣の確立を推進している。

II 今年度の学力向上に係る重点取組

① 学校全体での取組

授業づくり	学習集団づくり	学習習慣・環境づくり
<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが自分の学びを振り返り、見直しをもって学習に取り組めるよう支援し、主体的に学ぶ力を育てていきます。 子どもたちに身に付けさせたい資質・能力を明確にとらえ、その育成につながる授業づくりと授業改善を進めていきます。 一人一人に合った学び（個別最適な学び）と、友達と協力して学ぶ活動（協働的な学び）を一体的に充実させ、より深い学びにつながる授業を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学習の約束」の見直しを進め、全教職員が共通理解のもとで一貫した指導を行っていきます。 対話を通じた協働的な学びを充実させ、子どもたちが互いの考えを聞き合い、比較したり関連付けたりしながら思考を深められるよう支援していきます。 Q-Uアセスメントやいじめアンケート、心の健康観察の結果を参考にしながら、子どもたちが安心して過ごし、互いに高め合える学級・学年集団づくりを進めていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が自分の課題に応じた学習に主体的に取り組めるよう、学級掲示の工夫や日々の指導を充実させていきます。 児童が間違いや失敗を恐れず、自分の考えを安心して表現できるよう、学びやすい環境づくりを進めていきます。 朝学習、放課後学習、「武佐小チャレンジ」などの取組を通して、基礎・基本の確実な定着を図っていきます。

② 各学年の指導の重点

1年生の重点	4年生の重点
<ul style="list-style-type: none"> 語と語や文と文の続き方に注意しながら、文章を書くこと 内容のまとまりが分かるように文章を書くこと 文章問題を解くために減法の式を立式し、正しい答えを求めること 	<ul style="list-style-type: none"> 話し手が伝えたいことの内容を捉えること 叙述を基に段落相互の関係を捉えること（説明文） わり算の性質を理解して工夫した計算の仕方を説明すること
2年生の重点	5年生の重点
<ul style="list-style-type: none"> 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体をとらえること（物語文） 示された時計から時間を読み取り、どちらがどれだけ長いかを求めること 条件に当てはまるものを選び、選んだ理由を説明すること 	<ul style="list-style-type: none"> 文章全体の構成を捉え、目的に応じて文章の情報を整理すること（説明文） 登場人物の心情について、描写をもとに捉えること（物語文） 単位量あたりの大きさの概念の確実な理解を図ること
3年生の重点	6年生の重点
<ul style="list-style-type: none"> 情報の中心を捉えて聞くこと 表と棒グラフの読み取りの定着を図ること 整数の加減乗除計算の確実な定着を図ること 	<ul style="list-style-type: none"> 文章全体の構成や書き表し方などに注目して文章を整えること 自分の意見とその理由を明確にしなが文章を書くこと 分数の各計算や、基準量をもとにして比較量を求めること